

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービスポコアポコ福岡南

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2 職員の配置数は適切である	6	1		・1人休むと送迎などが回らない状況が見られる。今後増員を検討。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			・保護者向け評価表を毎年実施の上、職員間で改善に向けた話し合いを行っている。 ・保護者からの意見を通して、保護者交流会の機会を増やした。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			・面談の仕方・SSTの研修など、毎年研修を実施している。 ・別の事業所から研修に来る職員もあり、良い刺激となっている。 ・ロールプレイ等を取り入れた実践的な研修を今後開催していきたい。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			・SSTの評価表など、より適切にアセスメントができるようになってきていると感じる。 ・今後発達を図るアセスメントツールなども活用していく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7			・季節の行事など大きい活動は全体で話し合っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			・工夫しているが、毎年同じ月に似たような活動が多いと感じる。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		・集団・個別ともに療育課題やSSTなど細かく計画している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			・SSTを行う前など、事前に全体の流れなどを確認してから行うようにしている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		・翌日のミーティングで共有や振り返りを行い、改善点などを考えている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		・具体的に記録を書くようにしている。 ・今年度新たにSST用の記録用紙を作成した。今後の支援に活用していきたい。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			・3ヶ月ごとにモニタリングを行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7				
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			・児童の担当者、児発管などが参加するようにしている。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			・時間割を写真で撮る、保護者に写真で送ってもらうなどし、下校時間や行事の確認を行っている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	5		・医療的ケアが必要な児童は現在利用していない。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	3		・別の放課後等デイサービスに移行する児童について、引継ぎシートを作成し共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4		・外出支援や屋外活動により他の子どもと交流する機会を作っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		7		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			・送迎時や日誌等で伝えている。 ・送迎時に時間がなく伝えられない時もある。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	7			・ペアレントトレーニングが必要な保護者に対して、プリントや面談を通して助言等の支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			・相談があればその都度、助言や支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			・年に2回、保護者会を開催した。 ・今後、学年を分ける等より工夫して開催していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			・職員間で細かく情報を共有し、記録を残している。 ・責任者以外が苦情を受け付けた場合の対応方法についての体制を整えていき、より保護者の皆さんに信頼していただける事業所作りを目指していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			・会報の頻度が減っていると感じる。 ・SNSを利用した情報発信は多い。 ・今後もSNS、会報での定期的な発信を行っていく。
	35	個人情報に十分注意している	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		・今後イベント等を通してやっていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			・玄関等に提示し周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			・年に2回防災避難訓練を実施している。 ・イベントとして組みこんでおくことで定期的に実施できるよう工夫している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			・その都度記録を行い、毎日事業所内ミーティングでの共有、月に1回会社全体での共有を行っている。